

広告

宇部興産中央病院医療最前線

— シリーズ患者さんに寄り添う専門医療 16 —

白内障の手術について

よくあるご質問から

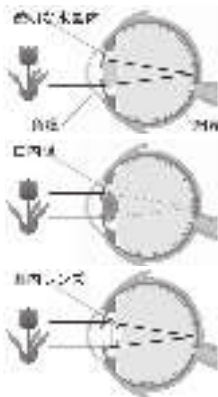


診療科長
湧田 真紀子

”目の治療“というと、真っ先に思い浮かぶのは目薬だと思いがちですが、眼科は目や目の周囲の組織の病気に対する手術が多いため、外科の一つとしてみなされる場合もあります。今回は眼科の中でも最も多い白内障の手術について、患者さんからよくある質問をもとに解説します。

Q 白内障の手術とは何をしますか？

A 白内障とは目の中の水晶体というレンズが濁る病気です。白内障の手術は、この水晶体の濁りを取り除き、人工のレンズ（眼内レンズ）を挿入する手術です。



Q 麻酔はどのようにして行うのですか？痛みはありますか？

A ほとんどの方が目の局所麻酔で痛みを感じずに手術を受けて頂けます。麻酔法は幾つかありますが、目薬（点眼麻酔）や、白目の皮の下に麻酔薬を注入する方法（テノン嚢下麻酔）がよく用いられます。緊張しやすく痛みを感じやすい方や、目に炎症を起こしていたりして痛みを感じやすい状態にある方には、肩や足の筋肉に痛みや緊張を和らげる注射を使用することもあります。体勢や目の動きを保持できない方には眠ったような状態で手術をする全身麻酔で手術を行うこともできますが、できる施設は限られます。

Q 入院は必要ですか？

A 白内障の手術は通院（日帰り手術）で行われる施設が多いです

が、全身疾患のため体調が変わりやすい方、筋肉注射の麻酔や全身麻酔を行う方、術後に細やかな目のケアが必要と予想される病状の方、片目が見えづらく良い方の眼を手術される方、送迎の都合や足腰が不自由などの理由で通院が困難な方には、入院ができる施設での手術が勧められる場合もあります。

Q 手術時間はどのくらいですか？

A およそ15分から30分程度ですが、目の状態や手術法によって異なります。

Q 手術中に気をつけないといけないことがありますか？

A 手術中は眼球の中で細かい作業を行いますので、目や顔が動くと大変危険です。緊張して体に入りがり過ぎたり、痛みや刺激感を感じようとすると、目が動いたり目の圧が上がることでかえって手術が難しくなってしまうたり、血圧などの体調にも影響してしまいます。なるべくリラックスを心がけ、体調や目の状態に異変を感じた時にも、目や体はなるべく動かさず、速やかに医師やスタッフに声をかけてお知らせください。

Q 手術後に気をつけることを教えてください。

A 感染予防と傷の保護のために、手術した目の周囲を清潔に保ち、こすったり触れたりしないこと。そして、点眼薬を決められた回数きちんと使用することです。日常生活の制限（洗顔、洗髪、運転、旅行など）については手術法や術後の目の状態によって変わってきますので、説明をよく聞き守ってください。分からないことは自己判断せず、担当医やスタッフに聞くようにしましょう。

宇部興産中央病院は地域医療支援病院です



〒755-0151 山口県宇部市大字西岐波750番地
地域連携室 ☎0836-51-9421

専門分野 ●眼科一般 ●白内障 ●網膜硝子体
認定医・専門医・指導医 ●日本眼科学会専門医
得意とする診療内容 ●眼科手術・白内障・翼状片・眼瞼疾患など
●眼科疾患・網膜疾患に対する画像診断・レーザー治療および抗VEGF療法（加齢黄斑変性・糖尿病網膜症・網膜循環障害など）、緑内障、ドライアイなど